

第2次長岡市自殺対策計画の評価指標（案）

【第2次長岡市自殺対策計画の数値目標（全体目標）】

指標	第1次計画基準値 平成28年	第1次計画目標値 令和5年	実績値 令和5年6月末現在	第2次計画目標値 令和9年（2027年）
自殺死亡率 (人口10万人対)	26.4	18.5		18.5
自殺者数	73人	51人	37人（暫定値）	51人

出典：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

令和4年10月に閣議決定された「自殺総合対策大綱」では、前大綱が掲げた自殺対策の数値目標「令和8年までに、自殺死亡者を平成27年と比べて30%以上減少させる」を引き続き、同様の数値目標と設定している。

参考：長岡市 平成27年自殺死亡率29.0(81人) →令和8年自殺死亡率20.3(57人) (30%減)

【基本施策・重点施策における評価指標】 ●は数値評価 ○はプロセス評価

基本施策	施策の柱（案）	評価指標
1 地域におけるネットワークの強化	(1) 自殺防止に向けたネットワークの推進 (2) 包括的な相談支援体制の充実	○職域層および子ども・若者の相談体制について検討する場の設置
2 自殺対策を支える人材の育成	(1) 一般市民に対するゲートキーパー研修の実施と周知 (2) 様々な職種を対象とする研修の実施 (3) 支援者のスキルアップ研修の実施	●○ゲートキーパー研修会受講人数 →目標値は定めず、経年で養成数の推移を評価する
3 住民への啓発と周知	(1) 自殺対策の情報提供・啓発の推進 (2) 市民向け講演会・イベントの開催 (3) 個別の相談を通じての支援	●○相談窓口案内チラシの作成配布 →目標値は定めず、経年で配布箇所数・配布枚数の推移を評価する
4 自殺未遂者等への支援の充実	(1) 医療機関・警察・消防等との連携の強化 (2) 自殺未遂者等ハイリスク者に対する支援体制の強化	毎年各事業の進捗状況で評価
5 自死遺族等への支援の充実	(1) 自死遺族への情報周知 (2) 相談会およびつどいの開催	毎年各事業の進捗状況で評価
6 SOSの出し方、受け止め方への支援	(1) 児童生徒に向けた取組の推進 (2) 若者を対象とした取組の推進 (3) SOSを受け止める体制の充実	●○長岡市内の小中学校におけるSOSの出し方・受け止め方教育の実施状況
重点施策	施策の柱（案）	評価指標
1 高齢者を対象とした取組の推進	(1) 自殺対策に関わる人材の養成および資質の向上 (2) 地域住民への周知・啓発 (3) 居場所や生きがい、役割を実感できる地域づくりの推進	●高齢期（60代以上）の自殺死亡者数 ●○高齢期に関わるゲートキーパー研修の受講者数
2 職域層を対象とした取組の推進	(1) 職域層の相談体制の整備 (2) 相談先についての周知 (3) 健康経営の取組の推進 (4) 妊娠から出産、子育ての切れ目ない支援の実施 (5) 女性の就労問題、家庭問題について連携した支援の強化	●職域層（30～50代）の自殺死亡者数 ○職域層の相談体制について検討する場の設置（再掲） ●○職域層に対するこころの健康に関する講座の実施回数・実施箇所・人数
3 子ども・若者を対象とした取組の推進	(1) 子ども・若者の相談体制の整備 (2) 居場所を増やす支援の展開 (3) 児童生徒の養育に関わる保護者等への支援体制の強化	○子ども・若者の相談体制について検討する場の設置（再掲）
4 生活困窮者を対象とした取組の推進	(1) 生活困窮に陥った人への包括的な支援の強化 (2) 支援につながっていない人を、早期に支援へとつなぐ取組の強化 (3) 多分野の関係機関との連動・協働	●○生活困窮者に関わるゲートキーパー研修の受講者数